



いよいよ各校の研修が山場を迎えようとしているところではないでしょうか。本プロジェクトチームでも、「実りの秋」に向けて、授業案の検討や授業公開・参観を通して研究を進めています。

「3つの創る力」発揮・育成のヒントに

以下に「Topic」として挙げる点が、「3つの創る力」発揮・育成のポイントになるのではないかと話題に挙がっています。自校の研修との共通点や御自身の実践に取り入れられそうなのではないでしょうか？

Topic
1

明るいカンニング

教師が説明するよりも、子ども同士で教え合うことで理解を深めさせることができた経験を、一度はされたことがあるのではないのでしょうか。

先にできている友達の考えを見たりまねたりする「明るいカンニング」を認めることは、子どもが自ら必要な情報を考え、選択・判断する力を育むことにつながります。その活性化には、ICTの活用が好相性のようですが、そのまま写すだけになってはいけません。各自が自分の考えを説明する場を設けるなどの工夫は必要です。



Topic
3

学びをつなげる

単元を通して「問い」が意識され、学びがつながるように、話し合い活動や個人の振り返りの時間を確保したい。でも、なかなか難しい…そうした悩みの解消に、左の2つのTopicが生きそうです。

子どもが自ら学びに向かい、その振り返りが、次の授業や家庭学習、他の子どもの学びともつながっていけば、本時の「問い」を「自分ごと」にすることがより円滑になります。それが進めば、授業中の個人学習の時間をぐっと減らし、集団で考えを深め合う追究の時間をたっぷりとることも可能になります。

子どもがいつでも学ぶことができる環境づくりは、「学校でしかできないこと」を行うための時間の確保・充実につながるのではないのでしょうか。



Topic
2

アナログのデジタル化

iPadを活用したいけど、入力や操作に時間がかかる…などの悩み。ありますよね。1つのヒントに「アナログのデジタル化」があります。

上の写真のように、オクリンクの機能を使い、考えを書いたノートなどの写真を撮って「共有の効率化」を図ることができます。この方法を家庭学習で行ってくれば、「明るいカンニング」だけでなく、スムーズな導入にもつながりそうです。

「3つの創る力」発揮・育成に向けた取組の進み具合はどうですか？
3つのTopicを含め、周りの人と、明日の授業から意識することを話し合ってみましょう。

